

2020年3月期 通期

決算説明資料

デリカフーズホールディングス株式会社
DELICA FOODS HOLDINGS CO.,LTD.

(東証1部 証券コード:3392)

Delica Foods
Group





■ 会社概要	．．． P 4
■ 業績説明	．．． P10
■ トピックス	．．． P16
■ 計画実行状況・足元の状況	．．． P28
■ 新型コロナウイルス対策	．．． P32

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

(本件についてのご連絡先)

デリカフーズホールディングス株式会社 電話 03(3858)1037 FAX 03(5851)1056



■ 会社概要

会社概要

Delica Foods
Group



商 号	デリカフーズホールディングス株式会社
創 業	昭和54年（名古屋）
代 表 者	代表取締役社長 大崎 善保
証券コード	3392（東証1部）
所 在 地	東京都足立区六町4-12-12
資 本 金	1,377,113千円
事 業 内 容	青果物流通業
従 業 員 数 （連 結）	536名（他、臨時雇用者数 1,583名） ※2020年3月31日時点 （前期末）492名（他、臨時雇用者数 1,700名）





デリカフーズ は、業務用の 八百屋です。

外食・中食・コンビニエンス産業に日本全国・365日
新鮮な野菜とカット野菜をお届けしています。

デリカフーズ は、
農と健康 を繋ぐ 創造企業です。

日本農業の発展、国民の健康増進に貢献すべく、
青果物の新たな価値を創造する研究・提案企業です。



デリカフーズホールディングス株式会社

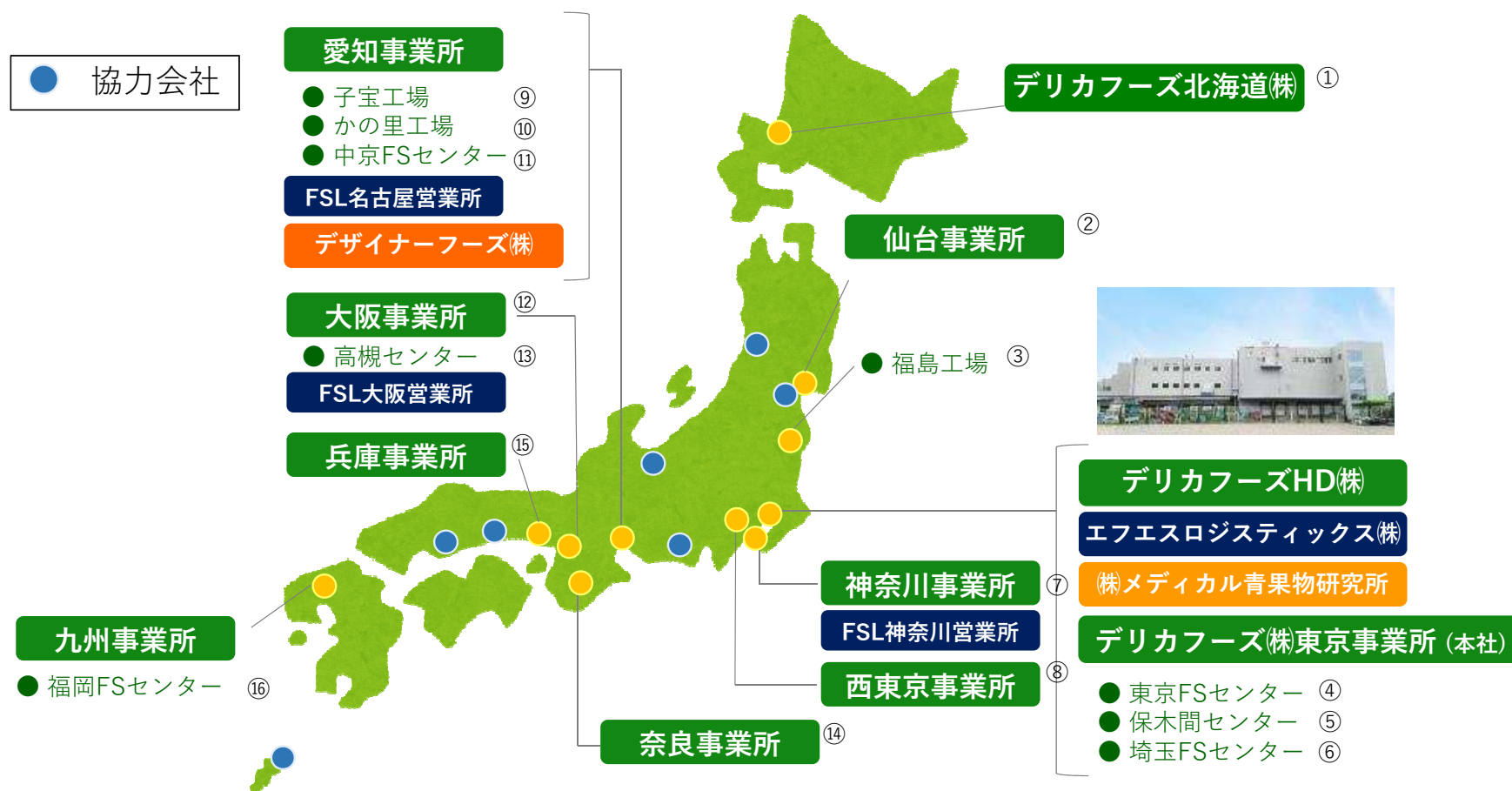


全国に広がるチルド配送網

Delica Foods
Group

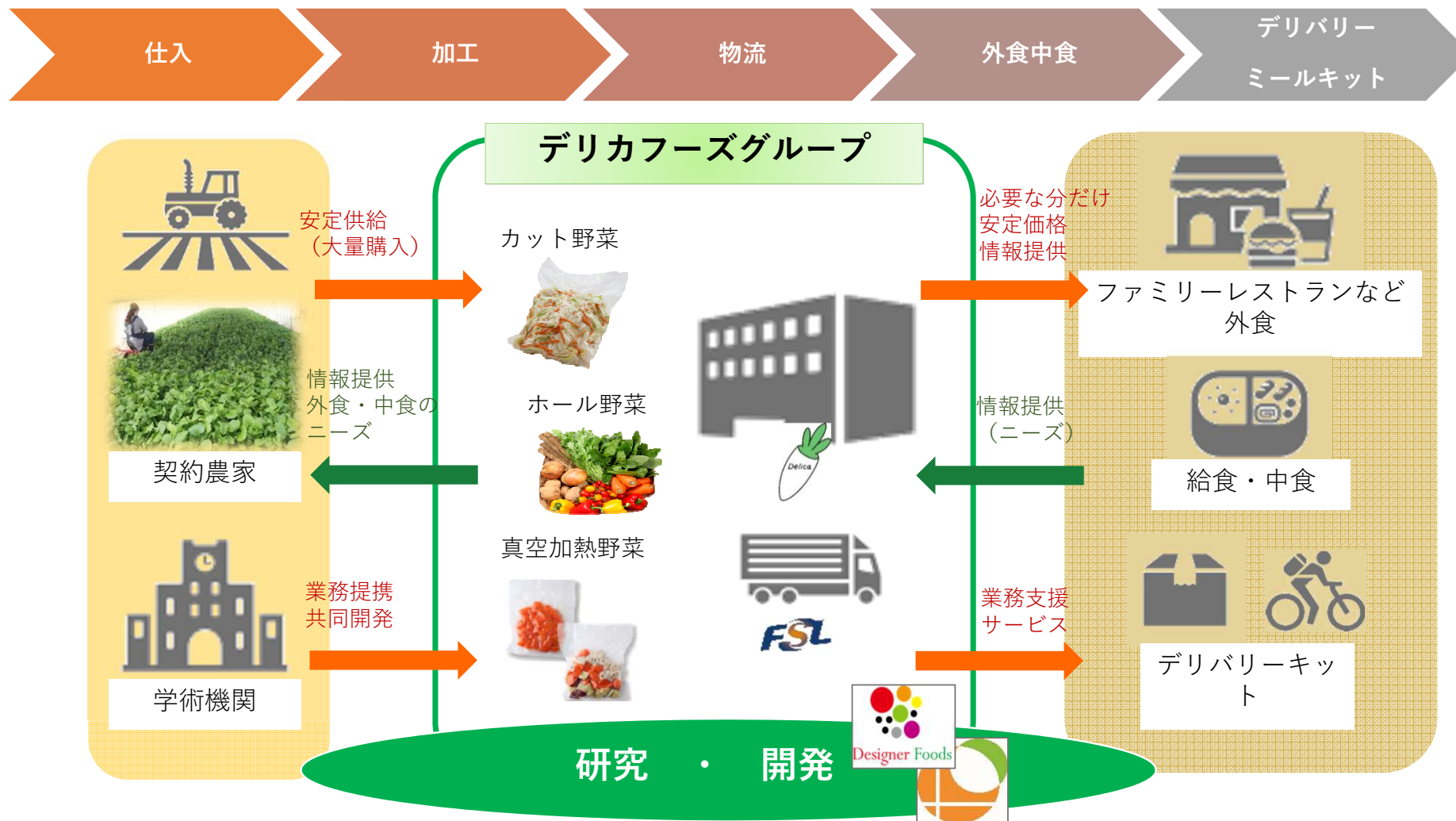


直営16拠点とエリア協力企業で日本全国2万8千店舗へデリバリー



農と健康を繋ぐデリカフーズグループ

Delica Foods
Group





■ 業績説明



売上高：404億円、営業利益：5.7億円、経常利益：6.4億円、当期純利益：3.6億円

- ・大型台風による影響や消費税増税の影響はあったものの、第3四半期までは順調に推移
- ・第4四半期に入り、2月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により販売先である外食・中食の休業・時間短縮営業が本格化、弊社売上高・利益の大幅な減少となった。

＜新型コロナウイルス感染拡大による影響＞

第4四半期における弊社算定のコロナ影響額 **売上高 -7億円以上** **経常利益 -2億円以上**

第3四半期までの進捗 売上高 31,020百万円(前期比+4.4%) 経常利益 681百万円(前期比+5.0%)

(単位：百万円)	2019年3月期 (前期)		2020年3月期 (当期)		対前期 差異	前期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	39,448	—	40,413	—	965	102.4%
営業利益	685	1.7%	571	1.4%	△ 114	83.4%
経常利益	761	1.9%	641	1.6%	△ 119	84.3%
親会社に帰属する 当期純利益	459	1.2%	360	0.9%	△ 98	78.5%
EBITDA	1,476	3.7%	1,507	3.7%	31	102.1%

※EBITDA=経常利益+減価償却費

2020年3月期 (2019年5月13日発表)		対予想 差異	予想比
通期予想	売上比		
41,000	—	△ 586	98.6%
915	2.2%	△ 343	62.5%
1,000	2.4%	△ 358	64.2%
625	1.5%	△ 264	57.7%
—	—	—	—



青果物事業、研究開発・分析事業は減益、物流事業は増益

(青果物事業)

第4四半期における新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上高は前期を上回るが、利益については△130百万円の減益となった。

(物流事業)

事業拡大・物流網構築のための人員・車両確保費用の発生、原油価格高騰に伴う燃料費の上昇等があったが、10月より一部顧客の協力を得て週に1度の運休日を設けたこと、コスト削減活動を強化したこと等で黒字体質化。

(研究開発・分析事業)

大型コンサルティング案件の終了により減収となったが、外部委託費用・人件費の見直しにより増益となった。

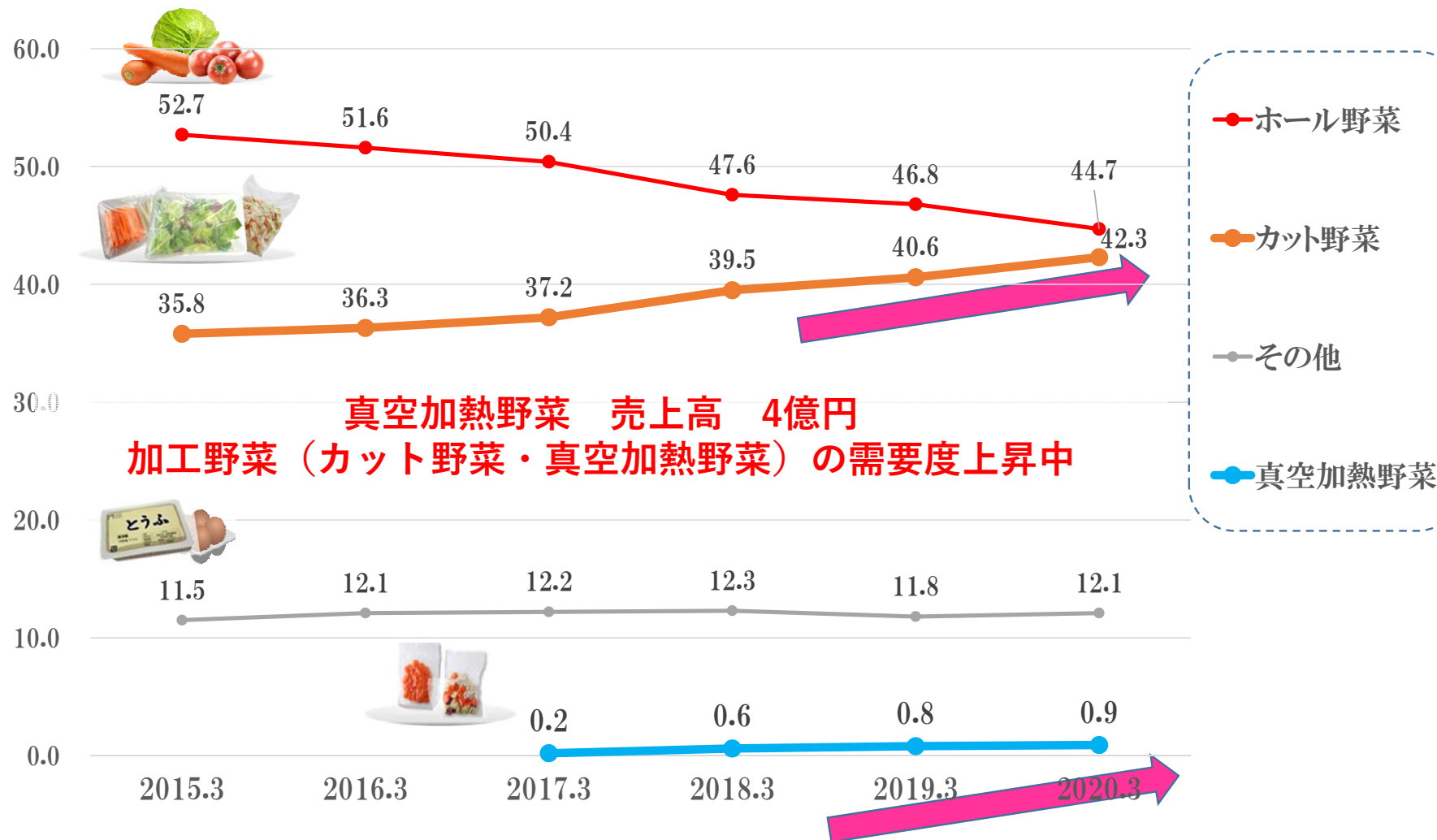
(単位：百万円)	青果物事業 (デリカフーズ株式会社) (デリカフーズ北海道株式会社)				物流事業 (エフエスロジスティックス株式会社)				研究開発・分析事業 (株式会社メディカル青果物研究所) (デザイナーフーズ株式会社)				持株会社 (デリカフーズホールディングス株式会社)			
	前 期	当 期	対前期 差異	前期比	前 期	当 期	対前期 差異	前期比	前 期	当 期	対前期 差異	前期比	前 期	当 期	対前期 差異	前期比
売上高（調整後）	39,335	40,284	948	102.4%	32	63	30	193.9%	79	65	△ 14	82.1%	0	-	△0	-100.0%
経常利益	716	585	△ 130	81.7%	△ 12	8	21	167.7%	△0	9	10	1456.2%	176	289	112	163.7%

商品別売上高の状況

Delica Foods
Group

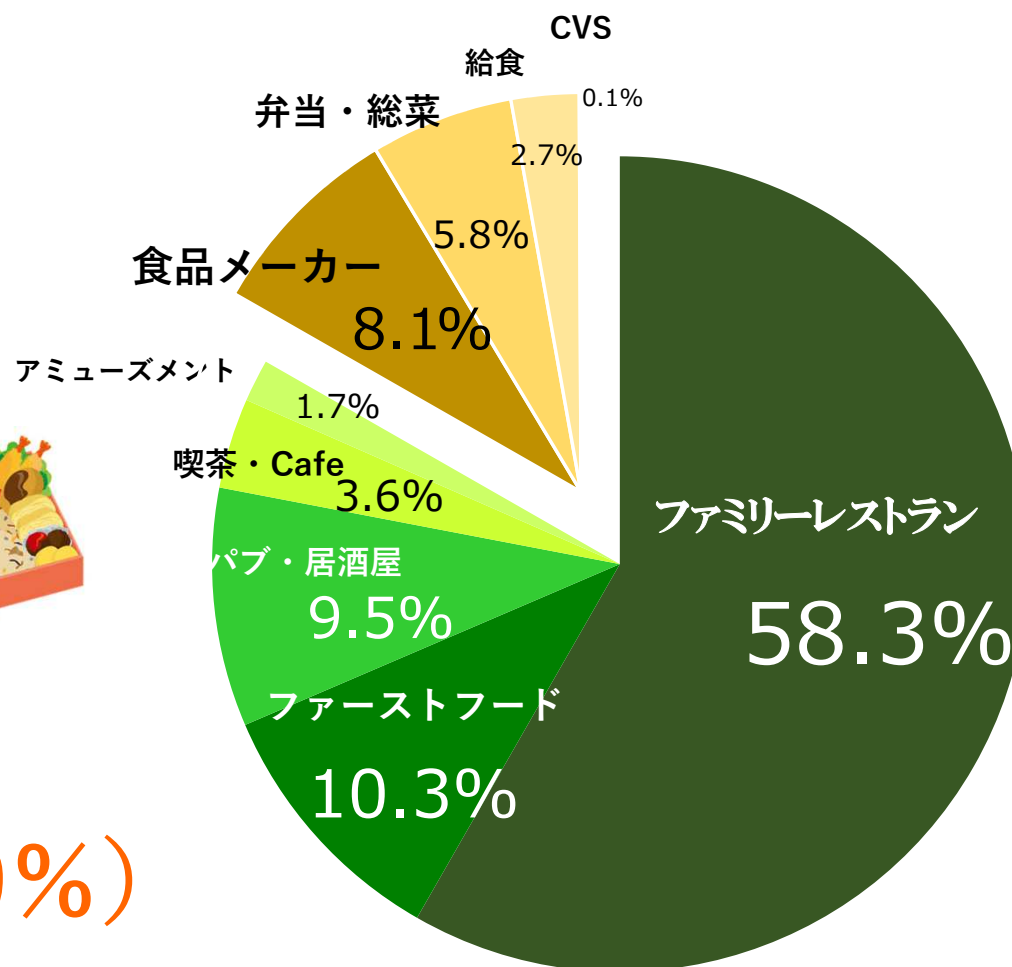


(単位：%)





中食
16.7%
(前期17.9%)



外食
83.3%
(前期82.1%)



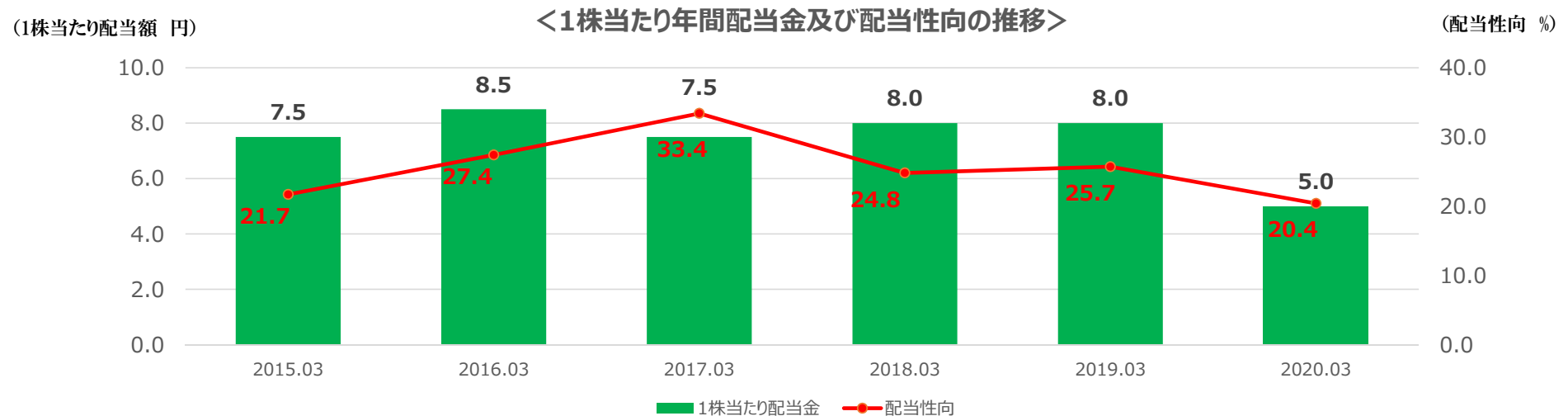


当期配当:5円00銭 (2020年6月株主総会で承認予定)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による当期の業績を鑑み、
当期配当を10円00銭(2019年9月1日公表)から5円00銭に修正。 ※5/8リリース

前期配当より3円00銭の減配となりました。

来期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。



※配当額は全て株式分割を考慮した調整後の金額となります



■ トピックス



農と健康を繋ぐ創造企業

- 外食・中食産業の価値創造を見据えた経営
- 青果物の流通を通じ、農業の発展と人々の健康な生活づくりに貢献
- 社会の持続可能性に配慮した経営

環 境

E
nvironment

社 会

S
ustainability

ガバナンス

G
overnance

当社グループは、サステナビリティの考え方を重視したバランス経営を実践すべく、環境に配慮した青果物事業を中心とするビジネス展開、地域社会をはじめ各ステークホルダーとの関係強化、強固なガバナンス体制の構築など、バランスのとれたESG経営を基に社会的ニーズに対応した価値創造を進めてまいります。



外食・中食産業の価値創造



品質へのこだわり
バリュエーション力



メニュー提案
お客様重視のサービス力



安定調達・貯蔵設備
青果物の安定供給力



コールドチェーン・全国物流網
青果物流通に特化した物流力

農と健康 を繋ぐ 創造企業 ～食・健康・環境問題へ立ち向かうために存在～

農業の発展と人々の健康づくり



青果物の安定調達
産地サポート



農と食・健康コンサルティング
健康食セミナー

環境への配慮、社会貢献性



フードロス低減への貢献
カット野菜



野菜屑の堆肥・飼料化
野菜リサイクル・ループ



CO2排出量の抑制に貢献
農地拡大



新工場・センターの開設、新エリア進出

2020年4月9日業務開始



仙台FSセンター



奈良FSセンター



西東京FSセンター



中京FSセンター

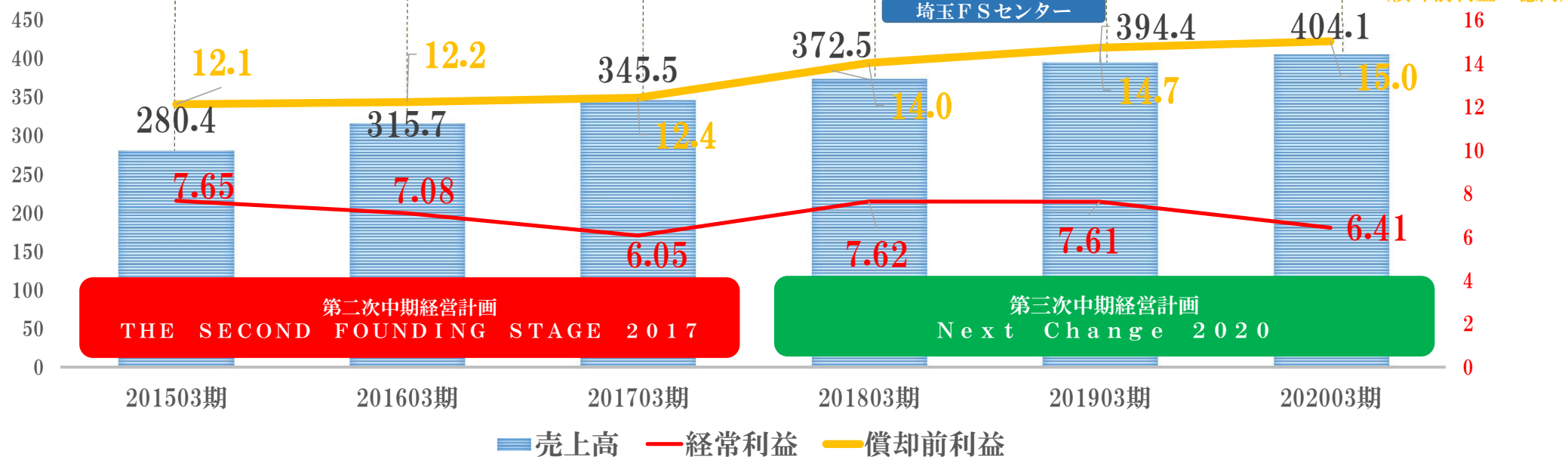


北海道エリア進出
(デリカフーズ北海道)



福岡FSセンター

(売上高：億円)



償却前利益については順調に推移中



2019年11月 株式会社大藤大久保商店(札幌市)の全株式を取得し、100%孫会社化 **デリカフーズ北海道(株)** として、デリカフーズグループの一員となりました。



北海道が新たな
マーケットへ

2019年10月3日リリース
「株式の取得（孫会社化）に関する基本合意書締結のお知らせ」
2019年11月1日リリース
「株式会社大藤大久保商店の株式取得及び社名変更に関するお知らせ」

デリカフーズ(株) 福岡FSセンター業務開始 (センター概要)

Delica Foods
Group



<福岡FSセンターの概要>

名 称: デリカフーズ株式会社 福岡FSセンター
所 在 地: 福岡県宗像市
建 物: 地上3階建、延べ床面積4,094㎡
投 資 額: 約23億円
業務開始日: 2020年4月9日



<福岡FSセンターの主な機能>

- (1) オートメーション化による省人製造ラインの導入
- (2) スーパーコールドチェーン(4℃)対応の仕分けセンター
- (3) 真空加熱野菜製造ライン
- (4) カット野菜製造ラインに異物除去装置を開発・導入
- (5) 在庫管理システムおよび進捗管理システムの導入
- (6) 野菜ゴミを完全リサイクル・ループ化へ
- (7) フードテロ対策として最新のセキュリティシステム(顔認証)を導入





全国2万8千店舗・配送車400台※のチルド配送網を活用し 物流改革に着手

365日24時間
チルド配送



外食・中食産業の
店舗様まで直接納品
365日便を活かし
野菜外の商品も取扱い

デリカフーズの拠点を
繋ぐ幹線物流網



デリカフーズグループ各拠
点を幹線便で繋ぎ、共同
調達・在庫コントロール・野
菜外商品の流通に展開

様々な調達を
可能にする調達物流



配送網を活用し、納入便
から引取り便へ順次変
更。生産者の負担軽減・
関係の強化

※協力会社車両を含む



①平日お値打ち便

積載率の低い平日を利用した
野菜外商品の配送サービス



②資材お助け便

物流難に直面する資材を
野菜と一緒に持ちするサービス



③幹線あいのり便

東京、名古屋、大阪の幹線便を
お値打ちに提供

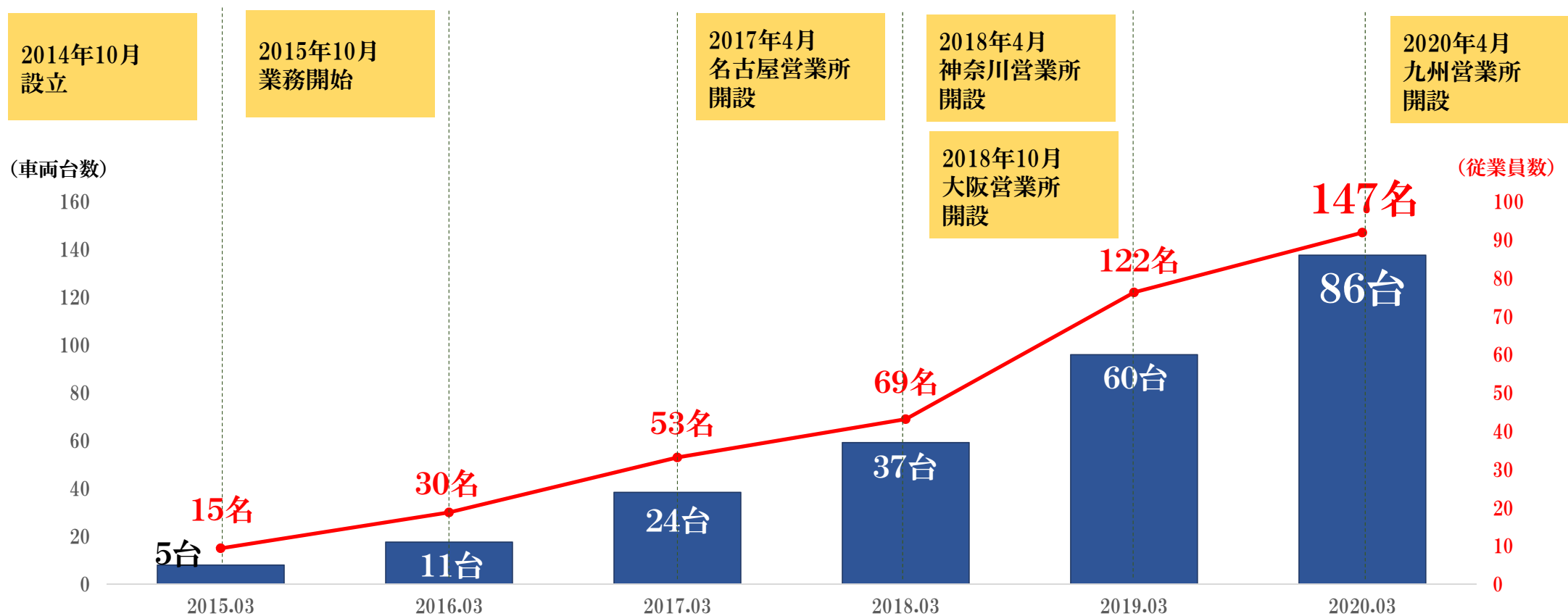


物流子会社の拡大状況について（従業員数と車両台数の推移）

Delica Foods
Group

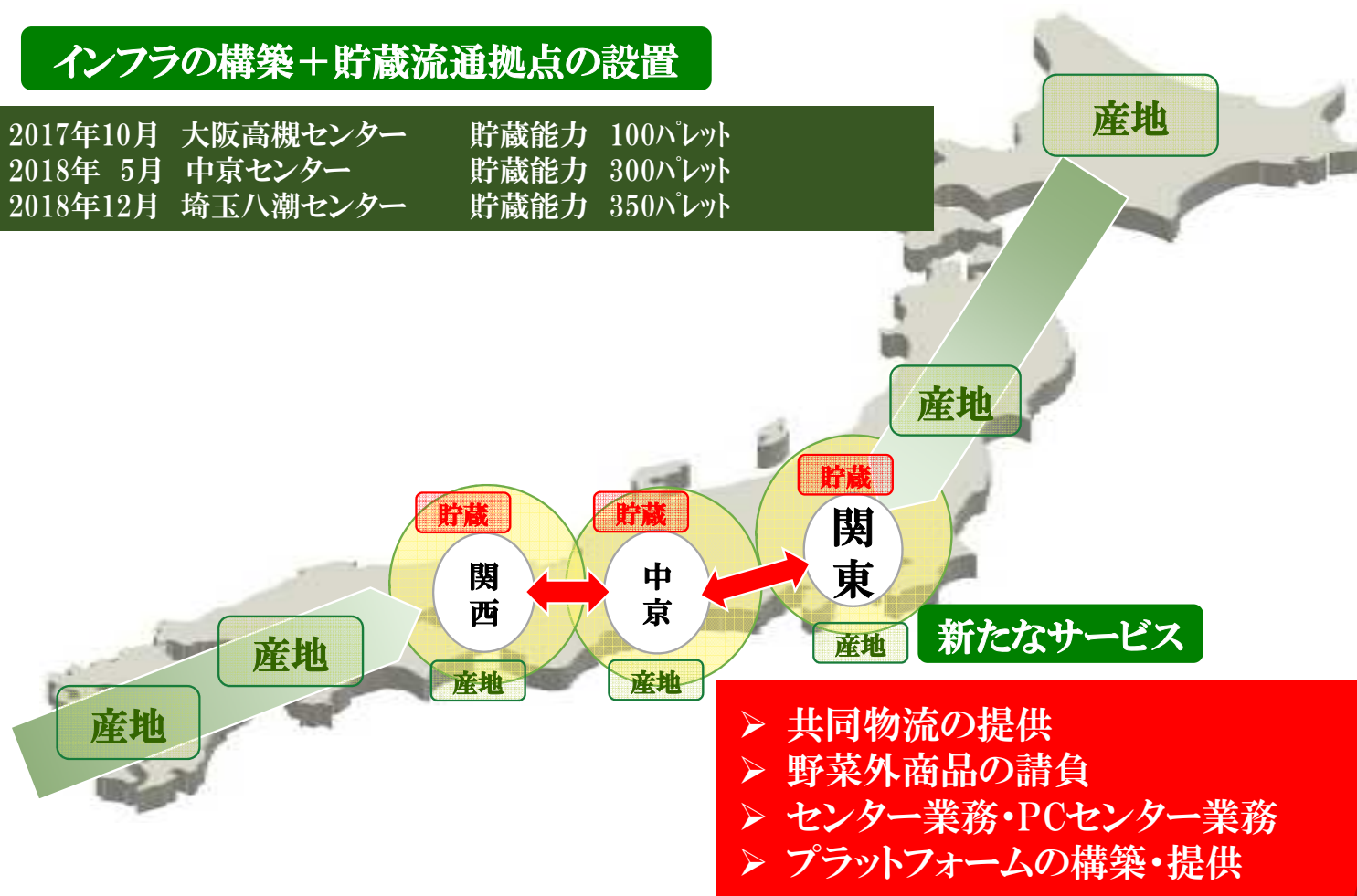


物流子会社 エフエスロジスティクス株式会社の拡大





2017年10月	大阪高槻センター	貯蔵能力	100ハレット
2018年 5月	中京センター	貯蔵能力	300ハレット
2018年12月	埼玉八潮センター	貯蔵能力	350ハレット



研究開発部門の取り組み

Delica Foods
Group

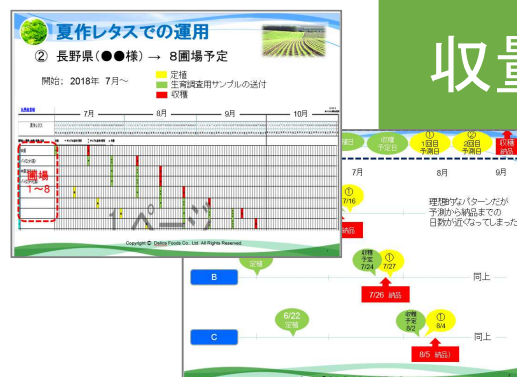


ISO17025認証取得

レモン非破壊選別装置
導入・運用開始



研究・開発



収量予測システム検
証開始

オーガニックエコフェスタ
参加・評価用青果物の
分析



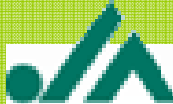
業務提携に関する覚書の締結

Delica Foods
Group



 **エアウォーター株式会社**

2019年5月 業務提携契約締結
原料調達の協業
インフラ事業の協業
外食・中食産業への販売拡大
共同研究及び共同開発

 **JA全農**

2018年3月 業務提携契約締結
国内契約産地づくり
インフラ・物流網の共同利用
共同商品開発

 **株式会社農業総合研究所**
Nousouken Corporation

2017年10月 業務提携契約締結
契約農家の共有及び共同調達
全国物流センターの共有
情報及びデータの共有

Delica Foods
Group





■ 計画実行状況・足元の状況



計画実行期間： 2019年4月1日～2020年3月31日

中京地区の営業強化 中京FSセンター及び拡張済子宝工場のフル稼働化	第一四半期中	
エフエスロジスティックス九州営業所の開設	3月31日 (エフエスロジスティックス本部 付で業務開始済み、正式開設 手続き中)	
九州事業所新工場の開設準備	3月31日	
エア・ウォーター株式会社との業務提携内容の具体化	3月31日 (調達・販売での提携開始、新 規販売領域について着手済)	
R&D部門の再編成および新規研究開発の開始	3月31日 (再編成実施済、新規研究開 発について着手中)	

ドライブスルー販売でのフードサプライ社との協業（5/8リリース）

Delica Foods
Group



（内容）

5月16日よりフードサプライ社との協業により、コンシューマー向けのドライブスルー八百屋を開始。

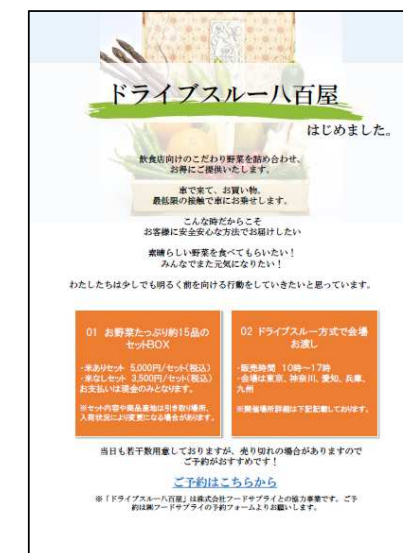
全国五か所 週4日程度の開催を予定

（目的）

緊急事態宣言の影響により、契約産地で余剰となった野菜の廃棄が発生している状況を受け、産地の支援と安心・安全でおいしい野菜の提供を目的とする。

（フードサプライ社 概要）

会社名	株式会社フードサプライ
本社所在地	東京都大田区東海 1－3－6
代表者	代表取締役 竹川 敦史
資本金	8,050万円
事業内容	青果物流通業、青果物の通信販売、コンサルティング業、ドライブスルー形式での青果物販売



コミットメントライン契約締結のお知らせ (5/19リリース)

Delica Foods
Group



当社子会社であるデリカフーズ株式会社は、株式会社三菱UFJ銀行との間でコミットメントライン契約を締結することを決定いたしました。

1. 本契約の目的

今後の事業展開において機動的かつ安定的な資金調達を可能とすることで、当社グループの今後の成長への必要資金を確保するとともに、財務基盤のより一層の安定を図ることを目的としてコミットメントライン契約を締結いたします。

2. コミットメントライン契約の概要

契約先銀行	株式会社三菱UFJ銀行
融資枠設定金額	20億円
契約締結予定日	2020年5月22日
契約期間	2020年5月22日から1年間
担保の有無	無担保・無保証



■ 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

Delica Foods
Group



デリカフーズグループでは、国内における新型コロナウイルス感染拡大の状況が顕著となり始めた段階で対策に関する基本方針を **「感染防止」** **「事業継続」** **「人は最後まで大切にする」** と定め、早い段階での取り組みを行ってまいりました。

＜当社グループにおける感染防止対策＞

- (1) 全従業員への手洗い、うがい、消毒、咳エチケットの徹底、3密の回避、栄養ある食事の摂取、十分な睡眠を心掛けるよう通達
- (2) 海外渡航の原則禁止
- (3) 社内の不特定多数者が触れるスイッチ、ドアノブ、自販機などの1時間ごとの消毒の実施と共用スペース等の定期的な換気
- (4) 弊社内の健康管理室へ体調不良者などの情報を集約。体調不良者に対しては、弊社保健師が自宅待機や医療機関受診などの対応を指示
- (5) カット野菜の製造・出荷作業者は、マスク、手袋、帽子を着用。全従業員に対し、出勤時の体調確認とその記録を義務化
- (6) 事務所間の会議はWEB会議にて実施。一部の従業員については、時差出勤やテレワークを実施
- (7) 外来者の方々には、体調問診とアルコール消毒と氏名・連絡先等の記録を依頼

引き続き感染拡大防止に取り組んでまいります



新型コロナウイルス感染拡大の影響は、世界規模で拡大し、経済的にも大きな影響を及ぼしております。当社グループもその影響を受け2020年3月以降売上が減少しており、まずは売上の回復が急務であると認識しております。

そのための施策として「既存取引先への深耕営業」や当社の強みである研究開発の成果を活かした「量販店等小売業態への提案営業の強化」を実施し、さらにコロナ禍後を見据え「消費者への直接販売BtoCへの販路開拓）」等を実施・検討してまいります。

また需給状況に応じ、物流の再編等、コスト削減施策についても並行して実施し、「農と健康を繋ぐデリカフーズグループ」として再び邁進したいと考えております。



新中期経営計画の公表を延期（当初5月12日発表予定）

今般の新型コロナウイルス感染拡大により、国内外経済の混乱が生じており、終息時期が見通せない状況であります。現下の状況が当社グループの事業活動に与える影響度合いについては鋭意確認中ですが、現時点では適正な情報収集は困難な状況であります。この現状を考慮し、次期中期経営計画を公表する事は投資判断に対して混乱を生じさせてしまう可能性があるかと判断し、次期中期経営計画の公表を延期させていただくことといたしました。



既存デリカモデルの更なる拡充

新たな領域での事業モデル展開

リスク耐性を有する事業基盤の構築

ESGを重視した
広い視野と将来を見据えた経営



デリカフーズグループは
これからも全てのステークホルダーから
評価される企業を目指して参ります。

Delica Foods
Group

